

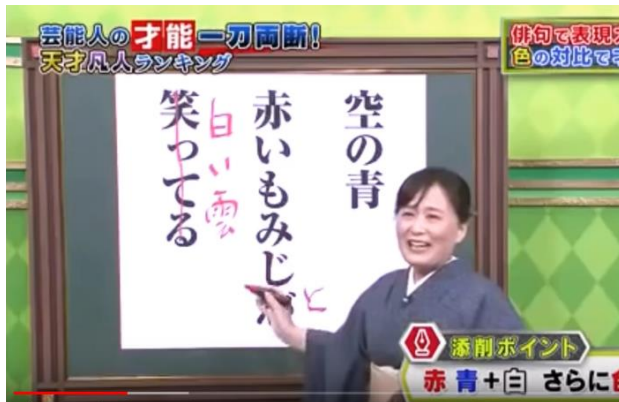
「最近のテレビは面白くない！」と嘆く人は多い。「テレビは全く見ない！」という若者も多いらしい。たしかに最近のテレビは、お笑い芸人やタレントが大勢でワイワイガヤガヤ勝手に盛り上がっているバラエティー番組ばかりでうんざりする。

そんな中で、最近一味違う番組がある。TBS テレビ系列で毎週木曜日の夜7時から放送されている人気バラエティー番組「プレバト!!」。プレバトとは「プレッシャーバトル」の略らしいが、意味は？。最近の視聴率は、ずっと2桁をキープして絶好調のようだ。

番組は、芸能人・著名人がさまざまな分野で才能を競い、それをその道の超一流の先生たちがランク付けをするもので、その「才能査定ランキング」が人気となっている。ランクは、「才能アリ」「凡人」「才能ナシ」さらに上の「名人」「特待生」、ジャンルは、俳句・生け花・水彩画・書道・料理・絵手紙などがある。

その中で、特に好きなのは「俳句」のコーナー。芸能人の凡作を、名作に変身させる毒舌俳人のおばさん？「夏井いつき氏」の劇的添削が超わかりやすく、面白い。私自身、俳句にはあまり興味なかったが、たまたま見たこの俳句添削を見て「これは面白い」と素直に思った。単語を入れ替えたりするだけで、見違えるほどの文に変身させるさまは、見事というしかない。背景や情景、映像が浮かんでくる。少ない語句（五七五）だけで描かれる世界観・・・「俳句」にはまりそう。

参考までに「プレバト!!」の俳句コーナーの「YouTube」映像です。(画像クリック)



<https://www.youtube.com/embed/r4GAxkXjU3A>

「夏井いつき」さんは、1957年愛媛県生まれ、中学国語教師を経て俳人に転身。現在、俳人としての創作活動に加え、俳句の楽しさを伝える教育活動を全国に展開している。

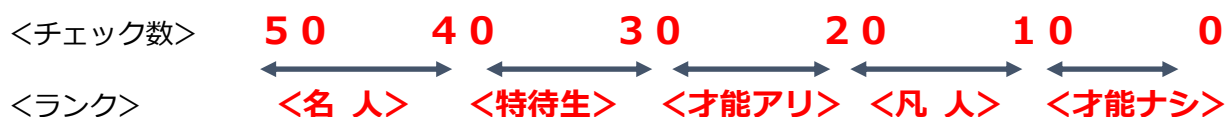
「プレバト!!」につられて、独自のコーナーを作ってみました。  
題して「プレバト!! パソコン活用度査定」コーナー。

パソコンは、我々の今の暮らしを最高に豊かで便利なものになっています。若さを保ち、呆けないための最高のツール、今が最適年齢です。ただ、うまく使いこなしている人は、どの位いるのでしょうか。そこで、プレバト流に査定してみようと思います。

次の「プレバト流、パソコン活用度査定チェックシート」で自己査定してみてください。

## 「プレバト流、パソコン活用度査定チェックシート」

下表の各項目をチェックし、自己査定してみてください。



<分類>	チェック	<項目>
パソコン環境 使用頻度	1	パソコンをほぼ毎日使用している
	2	メールをほぼ毎日開いている
	3	パソコンのOS（オペレーションシステム）がWindows 10
	4	CPUがCore i5、メモリ8GB、HDD500GB以上のスペック
	5	今使用しているパソコンは購入して7年以内
	6	ネット接続が光回線
	7	無線LANに接続している
	8	ソフトを5種類以上インストールしている
	9	音声をオーディオ装置に接続可能
	10	大画面TVにHDMIケーブルで接続可能
	11	プリンターに接続している
	12	USBケーブルで外付けHDDに接続している
	13	officeソフトがインストールされている
ワード エクセルで	14	年賀状を作成する、住所録を作成する
	15	OB会や地域の会合の議事録や会報などを作成する
	16	同窓会やイベントの企画書や案内状を作成する
	17	家計費の集計（家計簿）や財産目録等を作成する
	18	自分史を作成する、家系図を作成する
	19	日記をつける
	20	エッセーや感想文などを書いて投稿する
	21	体重・血圧等の記録を作成する（グラフ化する）
	22	カレンダー・スケジュール表を作成する
インターネット	23	ホームページを閲覧する
	24	ネット検索で、わからないこと、知りたいことを検索する
	25	ネットで買い物をする
	26	ネットオークションを利用する
	27	ネットで株取引をする
	28	銀行のネットトレーディングを利用する
	29	e-tax、確定申告書等作成コーナーで確定申告をする
	30	YouTube 動画を見る、投稿する
	31	インスタグラムを見る、投稿する

	32	ブログや自分のホームページを立ち上げている
	33	Facebook や Twitter をやる
	34	ネットテレビを見る（ディーバー、AbemaTV など）
	35	ネットラジオを聴く（NHKらじるらじる、radiko）
	36	本、雑誌、週刊誌を読む（dマガジン、楽天マガジンなど）
	37	無料のビデオを見る（GYAO、アマゾンプレミアムビデオ）
	38	カラオケで歌う、カラオケの新曲をゲットする
	39	地図をチェックする（ヤフーマップ、グーグルマップ）
	40	ホテル、旅館を予約する
	41	映画やコンサートのチケットを予約する
	42	食事のレストラン、お店を探す
	43	スケジュール管理をする（スマホと同期させる）
その他	44	デジカメで撮影した画像を編集する
	45	ビデオで撮影した画像を編集し、DVDにコピーする
	46	動画をパソコンに保存して楽しむ。DVDにコピーする
	47	YouTube 動画や音楽をパソコンに保存し、DVDやSDカードにコピーして、愛車のナビやカーステレオで楽しむ。
	48	孫の写真や動画を、フォトアルバムやムービーにして見せる
	49	過去の写真を整理し、デジタル保存する
	50	古いVHSテープをパソコンに保存し、DVDに焼く

査定結果はおそらく「凡人」「才能ナシ」が多いのではないのでしょうか。パソコンを一点集中で活用している方もいるかと思います。このような「項目の数」だけの査定ではなく、「面積」で見る必要があるかも知れません。

いずれにしても、今やパソコンは我々にとって「頭脳」、「手足」であり、身体の一部です。なくてはならない、なければ身動きがとれないほどの大切なパートナーです。身体は衰えても。パソコンは決して衰えません。使うほど機能を発揮してくれます。こんなパソコンを、ぜひ使いこなしていこうではありませんか。